

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第31週の発生動向

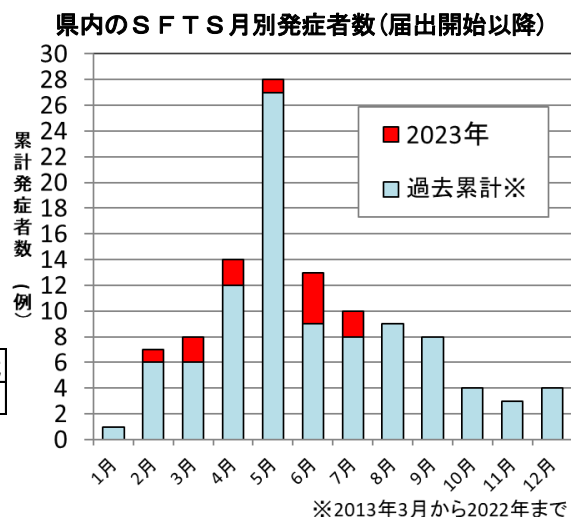
### トピックス

#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市、日南保健所管内からあった。患者は60歳代の男性と、80歳代の女性で、1例にダニの刺し口があった。県内での報告は、累計109例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	41	27	6



### 全数報告の感染症 (31週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：重症熱性血小板減少症候群2例、日本紅斑熱2例。5類感染症：梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	50歳代	男	肺結核	なし
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口
		日南	80歳代	女	—	発熱、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹
	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、発疹
		日南	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		都城	40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,476人(定点当たり49.3)で、前週比94%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は1,499人(25.8)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。延岡(46.1)、中央(28.0)、高鍋(26.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

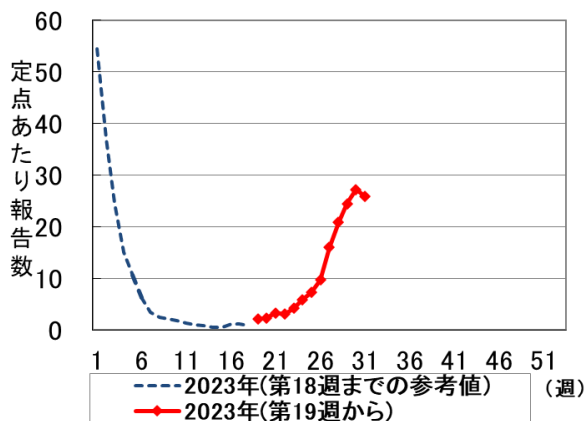
報告数は420人(7.2)で、前週比82%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.06)の約123.4倍であった。日南(22.2)、宮崎市(9.2)、都城(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【手足口病】

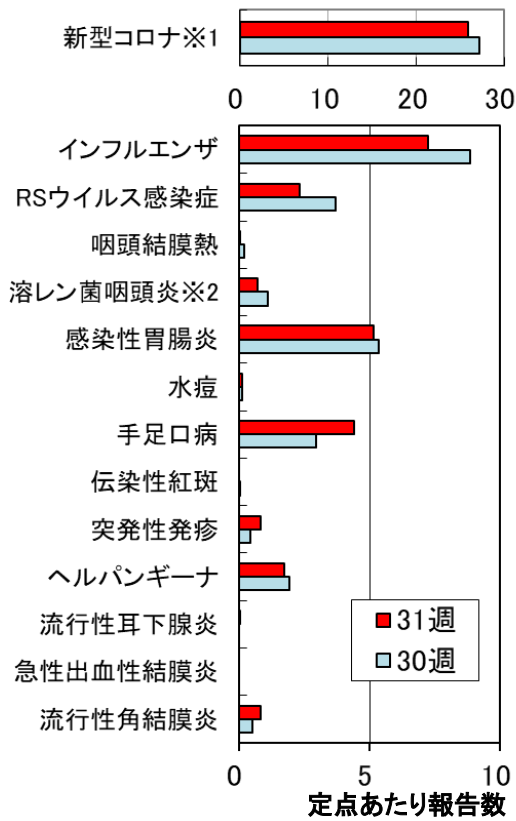
報告数は158人(4.4)で、前週比149%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.7)の約2.6倍であった。延岡(16.5)、中央(15.0)、日向(9.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

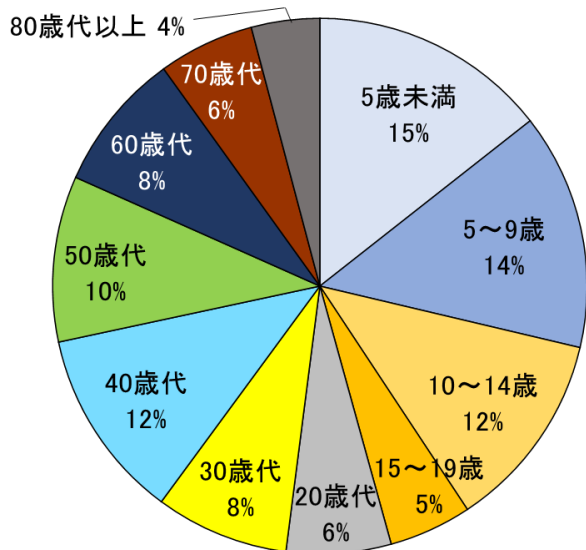


《前週との比較》



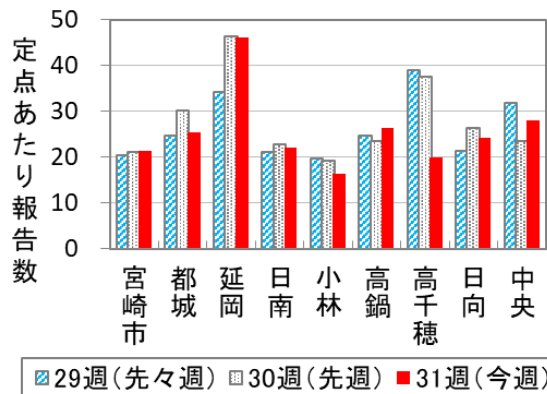
※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第31週)

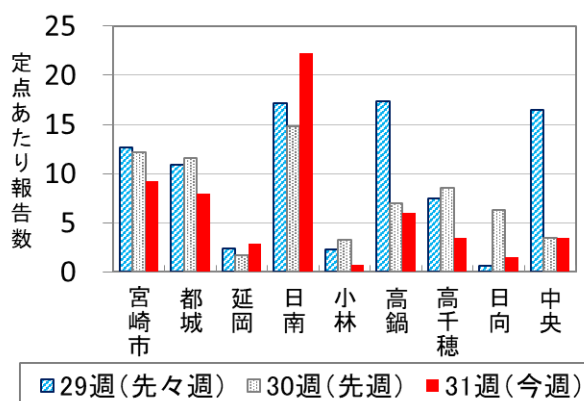


※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

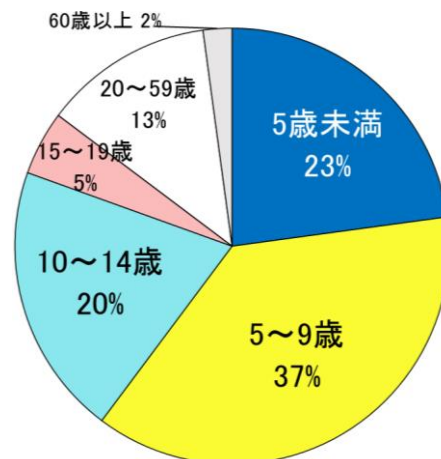
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



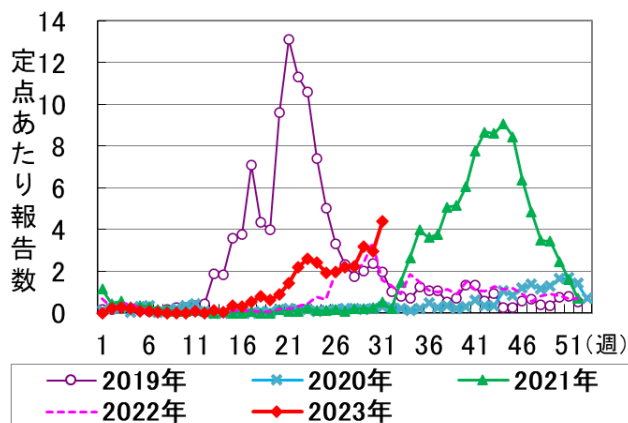
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



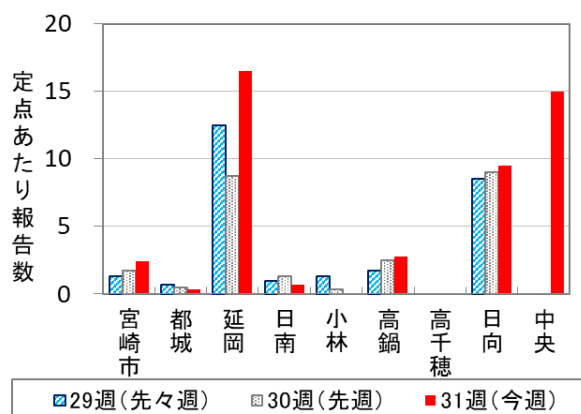
インフルエンザ年齢群別グラフ(第31週)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(16.5)
日南	インフルエンザ(22.2)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(9.5)、ヘルパンギーナ(7.5)
中央	手足口病(15.0)

※流行警報レベル開始基準値※

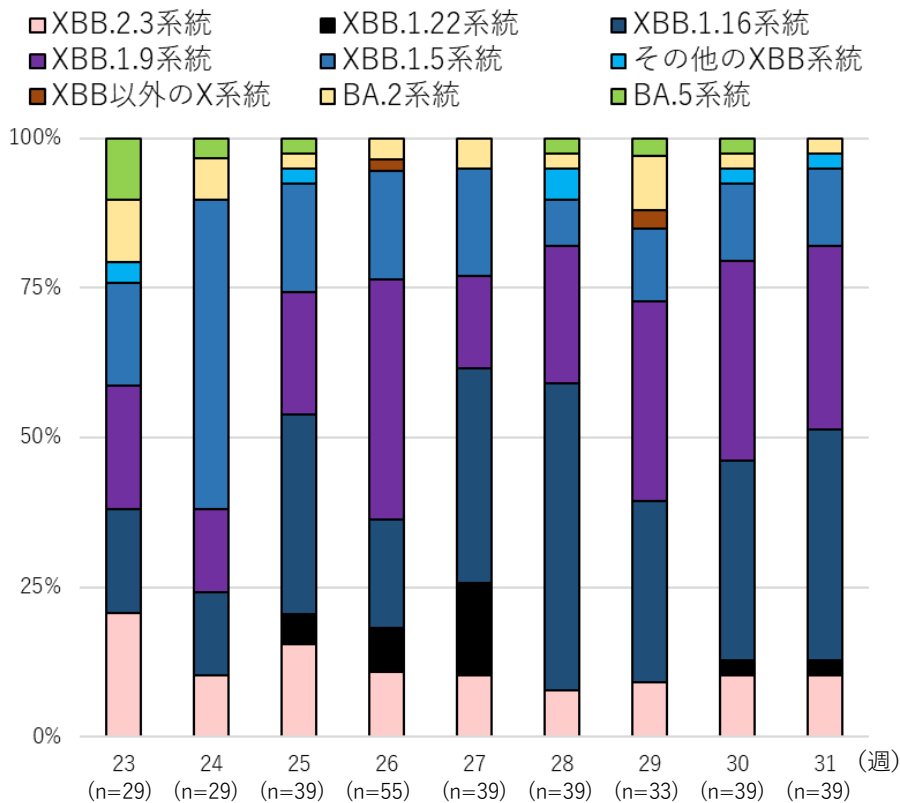
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

### 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



その他の XBB 系統を含む XBB 系統は第 31 週で約 97% を占め、XBB. 1. 16 系統が約 38%、XBB. 1. 9 系統が約 31% を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 🇯🇵 全国 2023 年第 30 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	244 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	131 例	腸チフス	1 例		
	E型肝炎	9 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	1 例
4類感染症	デング熱	3 例	日本紅斑熱	8 例	ライム病	4 例
	レジオネラ症	47 例				
	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	28 例
5類感染症	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	14 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘(入院例)	7 例	梅毒	194 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	24 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 8,088 人(1.6)で前週比 103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.05)の約 30.8 倍であった。鹿児島県(12.7)、熊本県(8.8)、宮崎県(8.8)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 78,502 人(15.9)で前週比 114%と増加した。佐賀県(31.8)、長崎県(30.3)、宮崎県(27.2)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第31週(07月31日～08月06日)

疾病名		第30週	第31週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	513	420	147	80	20	111	3	36	7	9	7
	定点当り	8.84	7.24	9.19	8.00	2.86	22.20	0.75	6.00	3.50	1.50	3.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	1578	1499	344	255	323	111	66	158	40	146	56
	定点当り	27.21	25.84	21.50	25.50	46.14	22.20	16.50	26.33	20.00	24.33	28.00
RSウイルス感染症	報告数	133	83	16	15	6	11	8	17		8	2
	定点当り	3.69	2.31	1.60	2.50	1.50	3.67	2.67	4.25	0.00	2.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	7	2	1	1							
	定点当り	0.19	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	40	26	3	12	2	2	1			6	
	定点当り	1.11	0.72	0.30	2.00	0.50	0.67	0.33	0.00	0.00	1.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	192	185	39	44	6	23	30	10		20	13
	定点当り	5.33	5.14	3.90	7.33	1.50	7.67	10.00	2.50	0.00	5.00	13.00
水痘	報告数	4	5	3				1			1	
	定点当り	0.11	0.14	0.30	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	106	158	24	2	66	2		11		38	15
	定点当り	2.94	4.39	2.40	0.33	16.50	0.67	0.00	2.75	0.00	9.50	15.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	15	30	10	9	1	2	4	2		2	
	定点当り	0.42	0.83	1.00	1.50	0.25	0.67	1.33	0.50	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	70	62	6	4	5	3	5	4	5	30	
	定点当り	1.94	1.72	0.60	0.67	1.25	1.00	1.67	1.00	5.00	7.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1							1		
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	5	2	1	2						
	定点当り	0.50	0.83	0.67	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～31週保健所受理分)

2類感染症	結核	69例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	12例(2)	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	2例	日本紅斑熱	6例(2)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	5例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	112例(2)
			百日咳	4例

( )内は今週届出分、再掲